

## 『比較日本学研究センター研究年報』発刊に際して

比較日本学研究センター長

高 島 元 洋

『比較日本学研究センター研究年報』の発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

平成16年4月、日本学研究の国際的な交流とネットワークの形成を目的として比較日本学研究センターが発足しました。この一年間のさまざまな模索の記録が『研究年報』としてまとめられることになりました。

今日急速な国際化がすすむなか、日本文化についておそらく大量の情報が世界各地に発信されていると思います。しかし、海外における日本文化への関心・研究と日本側のそれとではギャップがあるようです。原因は、いろいろ考えられます。研究情報の閉鎖性、日本語習得の困難性、イデオロギーの問題など。本センターは、海外の研究者がどのような情報を求めているかという受信機能を充実し、日本研究の発信・受信の拠点として活動することを考えています。

いずれにせよ、日本文化の研究は、国際化という新しい段階にあることを自覚する必要があります。異文化コミュニケーションは、簡単なものではありません。二千年近くつきあってもなお相互に理解ができないこともあります。本格的な活動は、これからです。微力ですが尽力したいと考えております。ご理解ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、本センターの活動にご協力いただいた多くのかたがたに感謝いたします。